

尿検査の実施について

尿検査で腎臓をはじめ、体のどこかの異常をさぐるために、尿の中の成分や性質、量などを調べます。異常の検査結果が出ましても確定診断ではありません。二次検査が後日あります。二次検査でも異常の検査結果が出ましたら専門医（泌尿器科など）にかかって検査を受けていただくことになります。

検査項目は以下の通りです。

糖

正常では尿の中に出ませんが、血糖値が一定の限度をこえると尿の中に糖が出てきます。糖尿病の発見に役に立ちます。

蛋白（タンパク）

生理的タンパク尿は、過激な運動や精神的ストレス、発熱などでみられます。病的タンパク尿には腎炎、ネフローゼ、尿路の炎症、結石、貧血や心臓病など多くの原因があります。

潜血

血尿、ヘモグロビン尿、ミオグロビン尿などで陽性になります。血尿は腎・尿路系の炎症や結石など多くの原因でおこります。

pH

酸性ならば、腎炎・糖尿病・痛風などの可能性、アルカリ性ならば、尿路感染・腎盂腎炎・膀胱炎・尿道炎などの可能性があります。食事内容によっても pH は左右されます。

尿の取り方



① 紙パック（検査コップ）を組み立てる。

② **6月14日（木）の朝【提出日当日の朝】おきて、すぐの尿をこの紙コップ（検査コップ）に取って下さい。**

③ プラスチックの容器（尿スポイト容器）を指で押さえ、その口を尿にひたし、指をはなすとすいあげます。



④ プラスチック容器（尿スポイト容器）は尿がもれないようにフタをしっかり閉めて下さい。そしてあらかじめ記名しておいたラベルシールをおはり下さい。

⑤ 尿をとったプラスチック容器（尿スポイト）は、あらかじめ記名などしておいた尿検査用の個人袋（検査提出袋）に入れ、点線通り折りたたんでご提出下さい。

（別紙の「尿検査のお知らせ」もお読みください。）

6月14日（木）にご提出ください。